

広島大学平和センター・セミナー（後援）

「Seminar“**The Diplomacy of Nuclear Safety and Radiation Dosimetry**” –
Maria Rentetzi 先生を囲んで」

（日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)「放射線影響研究と防護基準策定に関する科学史的研究」（研究代表者－柿原泰・東京海洋大学准教授）主催）
を開催

日時：2018年11月6日（火）16：00～18：00

場所：広島大学東千田キャンパス東千田未来創生センターRoom3-1

広島大学平和センターでは11月6日、現代科学と国際政治の関連領域における放射線防護の諸問題について、EU全域で共同研究をリードしているアテナ工科大学のMaria Rentetzi教授を招いた研究セミナーを後援いたしました。本セミナーは、広島大学大学院総合科学研究科の市川浩教授の主導・招聘により実現しました。なお、当センターの友次晋介准教授が当日の進行役を担当しました。

Rentetzi教授より、科学者や専門家による論議の場、あるいは外交、国際政治の場裏としての国際原子力機関（IAEA）などの国際機関に関する、新しい研究の可能性について問題提起がなされたあと、国内外の研究者、広島大学の博士後期課程大学院生などからなるフロアの間で活発な意見交換がなされました。

